

平成 24 年度「東京クリエイティブ・ウィークス」 キタイもソウゾウもこえる、東京文化の魅力を詰めこんだ 3 週間

前夜祭ではリリー・フランキー×YOUトークセッションを開催
川俣正と一緒に隅田川を旅する「クルージングツアー」も開催決定！

東京文化の魅力をさまざまな角度から楽しんでもらうとともに国内外に発信することを目的に、東京都と東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)がプロデュースする「東京クリエイティブ・ウィークス(TCW)」は、10月10日(水)～31日(水)までの22日間、昨年度よりも期間を延長し、さらに都内イベントとも広報連携するなど、拡充して実施します。10月9日(火)に実施する前夜祭では、リリー・フランキーとYOUが“東京の魅力”を語り合うトークセッションを行い、今年度のTCWを盛り上げます。また、3年にわたる「川俣正・東京インプログレス」で東京の水辺に制作されてきた「物見台」の3棟目がいよいよ完成。TCWのスペシャルプログラムとして、3つの作品を船で巡り、川俣正本人のトークも楽しんでいただける「クルージングツアー」も行います。

東京クリエイティブ・ウィークス前夜祭 リリー・フランキー×YOUが東京の魅力を語るトークセッション

「東京クリエイティブ・ウィークス」開幕前夜。渋谷のライブハウスで開催する、東京好きな大人のためのトークセッション。プライベートでも仲の良い二人が、東京の魅力を語り合います。

【実施概要】

- 日 時 : 10月9日(火)19:30 開演(19:00 開場)
 会 場 : 渋谷 WWW(東京都渋谷区宇田川町 13-17 ライズビル地下)
 出 演 : リリー・フランキー、YOU、MC:レイチェル・チャン
 参 加 費 : 無料
 定 員 : 100名
 応募方法 : 往復はがきに下記を記入の上、郵送。9月24日(月)消印有効 ※応募者多数の場合は抽選となります。
 往信はがき表面(宛先)・・・〒107-0052 東京都港区赤坂 1-4-6 赤坂光洋ビル 2F (株)ジェーワン内
 東京文化発信プロジェクト広報事務局
 往信はがき裏面……………参加者氏名、参加人数(2名まで)、連絡先(電話番号)
 復信はがき表面(宛先)・・・参加者住所・氏名
 復信はがき裏面……………何も記入しないでください。



リリー・フランキー

武蔵野美術大学造形学部芸術デザイン学科卒業。イラストやデザインのほか、文筆、写真、作詞・作曲、俳優など、多分野で活動。初の長編小説『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』は、2006年本屋大賞を受賞し220万部を超えるベストセラーとなったほか、絵本『おでんくん』はアニメ化され性別世代を超えて幅広い人気を集めている。俳優としては、映画「ぐるりのこと。」「色即せねれいしょん」「ボーイズ・オン・ザ・ラン」「モテキ」、TVドラマ「コード・ブルー」(CX)「モテキ」(TX)、大河ドラマ「龍馬伝」(NHK)、舞台「クレイジーハニー」(バルコ劇場)などに出演。



YOU

モデル、歌手(バンド)活動を経て、バラエティやCMタレント、女優(テレビドラマ、映画)、雑誌エッセイの連載も手掛けるなど、マルチに活躍。2004年第57回カンヌ国際映画祭コンペティション部門正式出品作品、「誰も知らない(是枝裕和監督)」では4人の子供を捨てた母親役で出演、カンヌ国際映画祭にも出席。現在、TV番組「週刊 EXILE」(TBS)「極嬢ヂカラ」(TX)「土曜はダメよ!」(YTV)などにレギュラー出演。2012年6月、雑誌『SPRING』の恋愛にまつわるお悩み相談コーナーの9年間の記事をまとめた「YOUのこれからこれから 恋愛編」(宝島社)を出版。

川俣正・東京インプログレス ドームづくり／竣工式／パブリックオープニング

世界的なメトロポリス都市である東京を、ワークショップ、トーク、共同制作などを通して再考するプロジェクト。今年は東京の廃材を用いた木造高さ約 12m の豊洲ドームを水辺に設置します。15 日(月)～26 日(金)の期間は、「ドームづくり」ボランティアを募集し、みなさんと共に作品制作を行います。27 日(土)には竣工式をおこない、その後一般公開を開始します。

【ドームづくり実施概要】

日 時 : 10 月 15 日(月)～26 日(金) 10:00-17:30
場 所 : 豊洲ドーム(都立春海橋公園)
作 業 内 容 : ドームの壁面の設置などの木工作业を行います
申 込 方 法 : 件名を「ドームづくり申し込み」とし、お名前、ご連絡先(電話番号、メールまたはFAX)、参加希望日(複数可)をご記入の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。
Mail info-cian@interlocalization.net
FAX 050-3728-3705
http://www.tokyoainprogress.com

【竣工式／パブリックオープニング実施概要】

日 時 : 10 月 27 日(土)
14:00-竣工式 15:00-パブリックオープニング(一般公開)<予定>
場 所 : 豊洲ドーム(都立春海橋公園)
http://www.tokyoainprogress.com



川俣 正
©Hervé Véronèse



東京インプログレス 2012 豊洲ドーム イメージ
©Tadashi KAWAMATA

川俣正・東京インプログレス クルージングツアー 川俣正と巡る汐入タワー、佃テラス、豊洲ドーム

東京インプログレスでは、平成 22 年度より都内の水辺に物見台を制作してきました。このクルージングツアーでは、東京インプログレスの総合ディレクター・川俣正(美術家)のトークを聞きながら、これまでに制作された汐入タワー(荒川区)、佃テラス(中央区)に加え、新たに完成する豊洲ドーム(江東区)を巡ります。

【クルージングツアー 実施概要】

日 時 : 10 月 28 日(日) 13:00-16:00(予定)
集 合 : 汐入タワー(都立汐入公園)
※集合場所およびルートは変更になる可能性があります。最新情報はウェブで。
参 加 費 : 大人 1,000 円、子供 500 円
定 員 : 50 名(先着順)
申 込 方 法 : 件名を「クルージング企画申し込み」とし、お名前、ご連絡先(電話番号、メールまたはFAX)をご記入の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。
Mail info-cian@interlocalization.net
FAX 050-3728-3705
http://www.tokyoainprogress.com



東京インプログレス 2011 佃テラス
©Tadashi KAWAMATA
Photo: Masahiro Hasunuma



東京インプログレス 2010 汐入タワー
©Tadashi KAWAMATA
Photo: Masahiro Hasunuma

音楽の現在をまっすぐに取り上げる新しい音楽イベント Sound Live Tokyo

即興音楽、集団演奏、コミュニティ・ミュージック、スピーチ・アクトなど、多様な切り口で「サウンド」の現在を紹介する新しい音楽フェスティバル。前夜祭では、ニューヨーク在住のジャズピアニスト菊地雅章(まさぶみ)がピアノソロを披露。また、「個人的な(あるいは共同の)自衛の手段としての音楽」に関する展示『ウォール・オブ・サウンド』(ティム・エッチェルス)も開催。

【サウンド・ライブ・トーキョー 実施概要】

開催日 : 10月27日(土)・28日(日) ※26日(金)前夜祭
場所 : 東京文化会館小ホール
料金 : 一般前売 2,000 円～
<http://www.soundlivetokyo.com>

▽10月26日(金)

17:00-20:30 ティム・エッチェルス『ウォール・オブ・サウンド』(展示)
19:00 菊地雅章 ピアノソロ(1st セット)
20:30 菊地雅章 ピアノソロ(2nd セット)

▽10月27日(土)

13:00-20:30 ティム・エッチェルス『ウォール・オブ・サウンド』(展示)
18:00 Project UNDARK + ディーター・メビウス
19:20 山下残『ヘッドホンと耳の間の距離』
20:30 工藤冬里 / マヘル・シャルル・ハシユ・バズ

▽10月28日(日)

13:00-19:30 ティム・エッチェルス『ウォール・オブ・サウンド』(展示)
15:30 『Baby Arabia』(HDCAM 上映、74 分)
17:00 Baby Arabia(コンサート)
18:15 ティム・エッチェルス『ウォール・オブ・サウンド』(コンサート)
19:30 サンガツ



マヘル・シャルル・ハシユ・バズ



菊地雅章
©Abby Kikuchi

三弦の多彩な音色、豊かな音楽性を一度に味わうコンサート 東京発・伝統WA感動「三弦 海を越えて—アジアから日本へ—」

日本には多くの種類の三弦があります。例えば義太夫節、地歌、長唄といったジャンルではそれぞれ太棹・中棹・細棹三味線が使われ、沖縄の古典音楽では三線や、他ジャンルとのコラボなどでも注目される津軽三味線もあります。また、アジア各国でも多くの人々に演奏され、親しまれています。この公演では、日本で花開いた三弦音楽の数々と、中国、モンゴルの三弦の響きを、名曲を通じてご堪能いただけます。とくに、超絶技巧がぶつかり合う中国大三弦と津軽三味線のセッションは一夜かぎり。お見逃しなく！

【三弦 海を越えて—アジアから日本へ— 実施概要】

開催日 : 10月11日(木) 18:00 開演
場所 : 東京芸術劇場コンサートホール
料金 : 全席指定 一般:4,000 円、学生:2,000 円 チケット発売 : イープラス、チケットぴあ、東京芸術劇場ボックスオフィス
<http://www.dento-wa.jp>

【第1部】

内容 / 出演 義太夫節「ひらかな盛衰記 逆櫓(さかる)の段」 / 浄瑠璃: 豊竹咲甫大夫、三味線: 鶴澤清志郎
地歌「黒髪」 / 三弦: 藤井昭子
長唄「越後獅子」 / 唄: 今藤長一郎、三味線: 杵屋栄八郎、小鼓: 藤舎呂英 ほか

【第2部】

内容 / 出演 モンゴル「サラタイ・フルンネイ・ハドラー(雄々しく走る額に白斑のある栗毛馬)」 / シャンズ(三弦): オユンエルデネ
琉球古典音楽「述懐節(しゅっけいぶし)」 / 歌・三線: 比嘉康春 ほか
琉球舞踊「若衆ぜい」 / 立方: 志田真木 ほか
中国大三弦「辺寨之夜(へんさいのよる)」 / 三弦: 費堅蓉(フェイ・ジェンロン)
津軽三味線「津軽じょんから節」 / 津軽三味線: 小山豊
大三弦 × 津軽三味線 / 大三弦: 費堅蓉(フェイ・ジェンロン)、津軽三味線: 小山豊 ほか

東京クリエイティブ・ウィークス スペシャルプログラム 国際会議「文化の力・東京会議」

日本でも世界でも、新たな社会システムの設計デザインが求められています。東日本大震災以降、社会設計において、特に文化の力に着目したいと考えます。「文化の力で社会変革」をテーマに、新しい社会像の獲得のために、世界とのネットワークの中で、文化の重要性とポテンシャルを考える国際会議を昨年引き続き開催します。

第1、第2分科会では、東日本大震災後に行われた、文化・芸術関係者による様々な支援活動の実例を出発点に、文化的挑戦が社会における様々な課題解決に発展するために必要とされる仕組みや構造を考えます。さらに、第3分科会では危機の時代における国際ネットワークの重要性を確認し、国際的な政策提言を視野に入れた議論を展開します。

本会議第1部では、分科会参加メンバーが準備会を重ね明らかになった課題の討議結果を報告・コメントします。第2部では、資生堂名誉会長の福原義春氏とインドの映画監督・作家のルシール・ジョシ氏が、社会における文化芸術の位置づけについて講演します。

続く第3部のパネルディスカッション「文化の力で社会変革」では、積み上げられた議論をもとに、アーティストと共に新しい社会像を議論します。



国際会議「文化の力・東京会議」チラシ

【分科会 実施概要】

日 時：10月19日(金) 10:00-19:00(予定)
場 所：国際交流基金 JFIC ホール[さくら]
参 加 費：無料 ※日英同時通訳つき

第1分科会 「芸術関係者による被災地復興支援～各国事例と持続可能な支援とシステム～」 10:00-12:30

モデレーター：窪田研二（筑波大学芸術系准教授、キュレーター）

出演者：開発好明、若林朋子、ケーティー・ティアニー、ポーニカン・ワシーノン

第2分科会 「文化芸術の挑戦に持続可能性を付与するフレームワーク」 13:30-16:00

モデレーター：林千晶（株式会社ロフトワーク代表取締役、米国NPOクリエイティブ・コモンズ文化担当）

出演者：藤浩志、西條剛央、ポール・ケラー

第3分科会 「芸術文化を通して築く国際ネットワーク」 16:20-18:50

モデレーター：久野敦子（公益財団法人セゾン文化財団プログラム・ディレクター）

出演者：丸岡ひろみ、カディジャ・エル・ベナウイ、テイ・トン

【本会議 実施概要】

日 時：10月20日(土) 13:00-18:00(予定)
場 所：東商ホール
参 加 費：無料 ※日英同時通訳つき

13:00-14:30 分科会報告

14:40-15:10 基調講演Ⅰ 福原義春（株式会社資生堂名誉会長、東京芸術文化評議会会長、東京都写真美術館館長）
「文化資本的アプローチで社会をつくる」

15:10-15:40 基調講演Ⅱ ルシール・ジョシ（映画監督、作家）
「私たちにアートがあった頃を覚えていますか？（仮）」

15:50-18:00 パネルディスカッション 「文化の力で社会変革」

司 会：加藤種男（公益財団法人東京都歴史文化財団エグゼクティブ・アドバイザー）

出演者：ルシール・ジョシ

藤浩志（アーティスト、十和田市現代美術館副館長）

カディジャ・エル・ベナウイ（アート・ムーヴス・アフリカ(AMA)コーディネーター、ヤング・アラブ・シアター・ファンド(YATF)コンサルタント兼プロジェクト・マネジャー）

スブツニ子！（アーティスト、神戸芸術工科大学大学院客員教授、株式会社リクルート・メディアテクノロジーラボ顧問、経済産業省クールジャパン官民有識者会議民間委員）

東京文化の国際発信につなげる 国際招聘プログラム

東京の文化の今を世界に向けて発信するための国際招聘プログラム。今年は、10名の若手芸術・文化関係者を東京に招聘します(10月21～29日)。若手プロフェッショナルの眼を通した東京の文化の今が、各国・各地域の専門家のネットワークやメディアにて発信されるほか、文化芸術を通した国際ネットワークの強化を目指します。

【参加者】

- ・ハシフ・アルディアシャー (Rolling Stone Indonesia 誌/インドネシア)
- ・ヴィルジニー・ポバン (キュレーター、美術・舞台芸術批評/フランス)
- ・クリストフ・グルク (音楽・演劇キュレーター、ドラマトゥルグ/ドイツ)
- ・ナターシャ・ハシオティス (ダンス批評/ギリシャ)
- ・ルシル・ジョシ (映画監督、作家、国際会議「文化の力・東京会議」基調講演者/インド)
- ・リサ・キネール (フランダース・メディアアート研究所 国際関係担当/ベルギー)
- ・ダニエレ・ペツラ (ジャーナリスト、美術批評、キュレーター/イタリア)
- ・ルイーゼ・トゥー (劇作家、演出家、キュレーター/ニュージーランド)
- ・ダグマー・ヴァルザー (スイスラジオ DRS2 舞台芸術番組担当ディレクター、チューリヒ国際舞台芸術祭テアター・シュペクターケル プログラムチーム/スイス)
- ・リドウアン・ザラニ (ミュージシャン/シンガポール)

さまざまなイベントとも協力して広報活動 東京文化をより強く、より広く発信！

東京クリエイティブ・ウィークスでは、下記の団体やフェスティバル等と広報連携しています。

【広報連携】

- ・ダンストリエンナーレトーキョー2012
- ・第29回全国都市緑化フェア TOKYO
- ・第25回東京国際映画祭
- ・レズ・アルティス総会 2012 東京大会
- ・足立区立郷土博物館特別展「足立の仏像―ほとけがつなく足立の歴史」(足立区)
- ・北とびあ国際音楽祭 2012(北区)
- ・交歓と触発―石川県立美術館の近代洋画から(小金井市)
- ・世田谷アートタウン 2012『三茶 de 大道芸』(世田谷区)
- ・豊島区制施行 80周年『民俗芸能 in としま』(豊島区)
- ・第4回港区文化芸術フェスティバル メインイベント(港区)
- ・特定非営利活動法人東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会
- ・CREATIVE TOKYOフォーラム/展示・商談会(仮題)

〈この件の取材・掲載に関する報道関係の皆様からのお問合せ先〉

東京文化発信プロジェクト 広報事務局 担当:大柳・久保・伊藤・野尻

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-4-6 赤坂光洋ビル 2階

TEL: 03-3584-4948 FAX: 03-3584-5230 E-mail: tokyobunka@path.ne.jp